

社会起業家支援事業 業務受託候補者募集要項

1 事業の目的

本事業では、仙台・東北を牽引するロールモデルとなるインパクトスタートアップの創出を目的とし、仙台・東北で活動する起業家及び潜在的な社会起業家層を発掘するとともに、事業立ち上げや成長に向けた支援を実施する。また、次世代起業家育成支援として、大学生・大学院生を対象とした社会起業家育成プログラムを実施し、仙台・東北で活動する社会起業家への理解や関係性を深めるとともに、社会起業に関心を持つ人材層のすそ野の拡大及び地元定着を促進する。

2 業務の内容

別紙仕様書（案）のとおり

3 提案上限額

8,650,000円（消費税及び地方消費税を含む。）を上限とする。

4 応募資格

応募の資格者は、次の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 委託事業の目的を的確に遂行するに足る能力を有するものであること。
- (2) 仙台市内で起業支援業務を行っている者又は行う予定である者で、東北エリアや国内外の起業家・起業支援団体、大学等との人的ネットワークを持っていること。
- (3) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする者、仙台市入札契約暴力団等排除要綱別表に掲げる要件に該当する者でないこと。
- (4) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項各号に該当する者でないこと。
- (5) 仙台市税、法人税、消費税及び地方消費税を滞納していないこと（または、現在の主たる事業所所在市町村の市町村税を滞納していないこと）。
- (6) 受付期限内に、仙台市の「有資格者に対する指名停止に関する要綱」第2条第1項の規定による指名停止を受けていないこと。
- (7) 総勘定元帳及び現金出納簿等の会計関係書類を整備していること。
- (8) 労働者名簿、出勤簿、賃金台帳等の労働関係書類を整備していること。

5 契約条件

- (1) 契約形態
委託契約とする。
- (2) 予算規模
8,650,000円（消費税及び地方消費税を含む。）を上限とし、採択提案内容等を市と調整し、契約金額を決定する。なお、委託費は提案事業の遂行に必要な経費とし、委託内容からその妥当性が認められる範囲内とする。
- (3) 契約期間
契約締結日から令和9年3月19日（金）とする。
- (4) 委託費の支払条件
完了払（業務完了後、市の検査を経て、受託者の請求に基づき支払うこととする。）
- (5) 情報セキュリティに係る現地調査の実施及び研修

- ・受託候補者は、契約締結までの間に「情報システム処理に伴う個人情報に係る外部委託に関するガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）により定められた「個人情報の適正な取扱いの確保に関する調査票」を本市に提出し、現地調査を受けること。（調査の具体的な日時は、別途本市と協議の上決定する。）なお、所定の要件を満たす場合には、現地調査を免除することができる。
- ・現地調査の結果、本市の基準を満たしていることが本市外部委託審査会にて承認された場合、本業務の契約の相手方として正式に決定する。
- ・受託候補者の個人情報等保護責任者に就任する予定の者は、個人情報を取扱う業務を開始するまでに、ガイドラインにより定められた「仙台市個人情報セキュリティ研修」を受講すること。なお、受講に係る費用は受託候補者の負担とし、費用見積書に含めないこと。

※ガイドラインについては以下の URL を参照のこと。

<https://www.city.sendai.jp/security/shise/security/security/security/guidelines.html>

(6) その他

- ・市は、提案書の内容を基にして、審査により選定された受託候補者と事前に委託内容・委託料について協議のうえ、協議等が整ったときには、別途市が作成する業務委託仕様書に基づき随意契約を締結する。
- ・委託契約の締結にあたっては、最も評価の高かった提案書の内容をそのまま実施することをあらかじめ約束するものではなく、業務委託の内容の詳細について受託候補者と別途協議のうえ、企画提案の内容を一部変更して契約することがある。
- ・協議が調った後に、受託候補者はあらためて詳細な経費を積算した見積書を提出するものとする。
- ・委託事業により生じた収入がある場合、委託費の一部を返還してもらうことがある。
- ・委託事業により生じた特許権等の知的財産権は、原則として市に帰属するものとする。ただし、市と協定を結ぶことにより、受託者に帰属させることができるものとする。

6 応募にあたっての質問及び回答

- (1) 受付期間 令和 8 年 4 月 27 日（月）正午まで
- (2) 受付方法 質問事項等を質問票（様式第 1 号）に記入のうえ、電子メールで提出する。
[提出先]
仙台市経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課 担当：沼澤
電子メール：kei008028@city.sendai.jp
- (3) 回答 質問者に個別に回答するほか、必要に応じて市ホームページに回答を掲載する。

7 企画提案書の提出

本事業の受託を希望する者は、下記により応募申込書等を提出すること。

- (1) 提出期限
令和 8 年 5 月 15 日（金）正午（必着）
- (2) 提出方法
電子データにて電子メール等により提出すること。（添付ファイルサイズ 30MB 以内。オーバーする場合は複数回に分けて送信すること。提出後、(6)の担当者宛てに提出した旨を電話し、受領の確認を行うこと。）

(3) 提出書類（各 1 部）

- ①応募申込書（様式第 2 号）
- ②共同企業体結成提出書（様式第 3 号）※共同企業体を結成する場合のみ
- ③企画提案書（任意様式、(4)参照）
- ④必要経費の概算（任意様式、積算内訳を添付）
- ⑤定款又は寄付行為の写し
- ⑥履歴事項全部証明書（商業・法人登記簿謄本）の写し
- ⑦提案者の概要が分かる資料（会社案内等）
- ⑧提案者の直近の決算書又はこれに類する書類（法人の決算書等）
- ⑨仙台市税の滞納がないことの証明書又は主たる事業所所在地の市町村税（特別区にあつては都税）を滞納していないことの証明書の写し
- ⑩納税証明書（その 3 の 3）未納の税額がないことの証明（所管する各税務署発行）の写し

(4) 提案書類作成上の注意

①企画提案書は、下記の内容についてとりまとめ、A4 版横（10 ページ程度）で記載すること。また、必要に応じて、図表等を用いて分かりやすく記載すること。

②企画提案書には下記事項を必ず記載すること。

（ア）提案者の概要

- ・法人・団体名
- ・所在地
- ・設立年月日
- ・資本金
- ・従業員数
- ・現在の事業内容

（イ）業務の内容に関する具体的な提案

※業務仕様書の「3. 業務の内容」に記載された項目に対する企画提案を、できるだけ具体的に記載すること

- A. プログラムの企画・運営
- B. 広報及び募集
- C. その他

有益な独自の提案があれば記載すること。

（ウ）実施体制

- A. 受託事業の運営体制（組織・人員等）

※図表などを用いて、受託事業に携わる役割分担表を作成し、担当者名や担当者の実績も含め具体的に記載すること

- B. 東北エリア及び国内外の起業家、起業支援団体、企業、教育機関（中学校、高等学校、大学等）との人的ネットワーク

- C. その他実施体制に係る特記事項

※本事業を推進するために提案者が有する能力、実績等があれば記載すること

※業務上必要な場合であり、再委託を予定している場合は、再委託先や委託内容、再委託先の本店所在地など具体的に記載すること。

（エ）実施スケジュール

（オ）受託事業と関連する業務の実績（ある場合）

（カ）その他 受託事業に活用可能な自社の強み（PR）

③その他

- (ア) 企画提案に係る費用は提案者の負担とする
- (イ) 提出資料等は返却しないこととする
- (ウ) 提出期限後の提案書の提出、期限後の提案書の差し替え・再提出は認めない
- (エ) 提出資料等は仙台市情報公開条例に基づく公文書開示請求の対象となる

(5) 提案が無効となる場合

次のいずれかに該当する提案は無効とする。

- ・応募資格要件を満たさない者又は受託候補者を選定するまでの間に資格要件を満たさなくなった者による提案
- ・提案書等の提出書類に虚偽の記載を行った者による提案
- ・上記5(2)に示す予算規模上限額を超える提案
- ・その他企画提案に関する条件に違反した提案

(6) 提案書等の提出先

電子データ提出先：kei008028@city.sendai.jp

仙台市経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課 担当：沼澤

TEL：022-214-8278

8 受託候補者の選定について

以下により、受託候補者を選定する。

(1) 審査方法

審査は「社会起業家支援事業業務受託候補者選定に係る審査委員会」において、提案書等の提出書類をもとに、以下の審査基準による書類審査及び面接審査を行う。なお、応募者多数の場合は、企画提案書等による書類選考を実施し、8(2)審査基準の項目による審査により、プレゼンテーション対象となる提案者の選考を行う場合がある。書類選考の結果、プレゼンテーション対象とならなかった提案者に対しては、電子メール等により通知する。

(2) 審査基準

以下の項目等について評価し、総合的な審査を行う。

ア 事業目的との合致性（15点）

- ・事業の目的を十分に踏まえたプログラム内容となっているか

イ 事業者に関する項目（35点）

- ・業務を遂行するための実施体制が合理的なものとして具体的に示されているか
- ・業務を遂行するための能力、実績、ネットワークを有しているか
- ・事業者は仙台市内に本店があるか。業務上必要な場合であり、かつ受託者以外の事業者が関与する場合（再委託等）は、市内に本店を有する事業者を活用するなど、地域経済への配慮がなされているか

ウ 事業の内容について（40点）

- ・事業効果を高めるための創意工夫がなされているか。
- ・事業スケジュールが合理的なものとして具体的に示されているか

エ 事業に必要な経費について（10点）

- ・事業を行うために必要な経費は具体的に見積もられているか
また、合理的かつ経済性に優れているか

(3) 審査委員会（面接審査）の開催

以下の日時、会場において全提案者に対して面接審査を実施する。

日 時：令和8年5月22日（金）午後（予定）※詳細は応募申込書提出者に後日連絡。

会 場：原則、オンラインでの審査会とする。

内 容：7(3)で提出した企画提案について口頭にて説明を行うこと（プレゼンテーション時間10分、質疑応答時間10分を予定しているが、企画提案者数に応じて変更する場合がある）。

出席者：1者あたり3名以内とし、本事業を実施する際の責任者に想定している者を主たる説明者とする。

その他：面接審査の実施時間など詳細については、様式第2号応募申込書に記載の担当者メールアドレスあてに通知する。

(4) 審査結果

採択・不採択の結果については、全提案者に対してメール等で通知する。

9 スケジュール（予定）

令和8年4月27日（月）正午 質問票の提出期限

令和8年5月15日（木）正午 提案書等の提出期限

令和8年5月22日（金）午後 審査、受託候補者の決定

令和8年5月下旬 外部委託審査会に係る必要書類の提出

令和8年6月上旬 業務委託契約締結、業務開始

令和9年3月19日（金） 業務終了

10 その他

- (1) 本事業の実施にあたっては、労働基準法、労働関係調整法、最低賃金法、著作権法、その他法令を遵守すること。
- (2) 受託者は、受託者が行う業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることができない。ただし、業務を効率的に行ううえで必要と思われる業務については、市と協議のうえ、業務の一部を委託することができる。
- (3) インターン、アルバイト、または業務委託スタッフは補助的な業務のみ担当し、本業務の事務局業務（管理・進行などの中核業務）には従事しないものとする。
- (4) 事業の円滑な実施のために、本事業の委託開始から終了までの間、事業の進捗状況を定期的に市に報告すること。
- (5) 本事業において広報等を行う場合にあつては、市からの受託事業であることを明示すること。
- (6) 本事業の経理を明確にするため、受託者は他の経理と明確に区分して会計処理を行うこと。
- (7) 本業務の関係書類や会計帳簿等は、業務実施終了後5年間は保存すること。また、業務実施後に閲覧が必要になった場合は、協力すること。
- (8) 本事業の実施にあたり、個人情報等の保護すべき情報を取り扱う場合は、その取扱に万全の対策を講じること。
- (9) 本業務の終了時に、実績報告書のほか配布物等必要な書類を提出すること。